

ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年8月分）

[殺傷事件・銃撃事件関連]

8月1日[銃撃事件] 午後4時頃、ベリーズ市内の通り上において、男性（31歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は複数発の銃弾を受けて倒れ、病院搬送後に死亡した。警察は現場に残された多数の弾痕と目撃者証言を基に捜査を開始したが、事件の動機や容疑者はわかっていない。

8月11日[刺傷事件] 午前8時頃、ベリーズ市のノース・フロント通りとエンジェル路地において、未成年の男性（19歳）が刺される事件が発生した。警察によると、傷の状態や犯人の特定については現時点ではわかっておらず、引き続き捜査が行われている。なお、負傷した男性はKHM病院へ搬送され治療を受けている。

8月14日[刺傷事件] 午前6時頃、カヨ郡ブラックマン・エディ村の住宅において、男性（25歳）が死亡する刺傷事件が発生した。警察によると、住居侵入の通報を受けた警察官が現場へ到着すると、家の中で重度の刺し傷により失血死している被害男性を発見した。事件の詳細な情報はわかっておらず、引き続き警察による捜査が行われている。

8月17日[銃撃未遂] 正午頃、ベリーズ市内において、警察官を狙ったとされる銃撃事件が発生した。警察によると、銃撃犯の男性（22歳）が警察官に向けて発砲しようとしたが、拳銃の引き金に不具合があり発砲できなかったため、そのまま逃走した。銃撃犯は警察に指名手配された。

8月21日[銃撃事件] 午後5時頃、ベリーズ市のログウッド・サルストーン通りにおいて、実業家の男性が銃撃される事件が発生した。警察によると、弾痕は被害男性の顔付近をかすった程度とされ、致命傷には至らなかった。その他、事件の詳細な情報はわかっていない。警察による捜査が続いている。

8月25日[刺傷事件] 午後4時頃、トレド郡サンアントニオ村において、刺傷事件が発生した。警察によると、この村に住む男性（22歳）が採掘場付近を歩いていたところ、知人とされる男にナイフで襲われ重体となった。その後、容疑者は警察に拘束され、被害男性はベルモパン市の西部地域病院へ救急搬送された。

8月27日[刺傷事件] 午前3時30分頃、ベリーズ市南部地域において、複数人が刺傷する事件が発生した。警察によると、少なくとも2名が負傷し、KHM病院へ救急搬送された

た。事件の詳細は明らかになっておらず、警察による捜査が続けられている。

8月31日[銃撃事件] 午前7時頃、首都ベルモパン市の住宅敷地内において、実業家の男性（28歳）が死亡する銃撃事件が発生した。報道によれば、この事件は男性と男性の家族間の口論から発展した家庭内トラブルが発端とされている。事件の容疑者は被害男性の内縁の妻の姪とされる人物で、事件後、警察に拘束された。

[強盗事件・窃盗事件関連]

8月8日[侵入盗事件] 午前7時頃、ベリーズ市シティ・ヴィクトリア通りの住宅において、侵入盗事件が発生した。警察によると、被害に遭った家主が目覚めたところ、扉の南京錠が破壊され、室内に強引に侵入された形跡があった。この家からは、32インチテレビ、サムスン製のスマートフォン、ヘルメット2個などが盗まれ、さらにバイク部品も損壊されていた。被害総額はおよそBZ\$1,100（約8万2千円）相当で、警察が捜査を進めている。

8月11日[武装強盗事件] 午前11時頃、ベリーズ市リージェント通りとビショップ通り付近において、武装強盗事件が発生した。警察によると、現金輸送中のメッセンジャーが不審な男に銃を突き付けられ、BZ\$10,500（約150万円）の現金を奪われた。犯人は2人組で、オレンジ色の反射ベストを着用し、自転車で逃走した。その後、警察の捜査により容疑者2名が逮捕され、起訴された。

8月12日[武装強盗事件] 午後4時頃、カヨ郡ブラックマン・エディ村のプーマガソリンスタンドにおいて、移動中のメノナイト商人らが複数の男に襲撃される事件が発生した。警察によると、発砲を伴うこの強盗事件は、犯人らは車両で接近し被害者らの現金および商品を奪って逃走したとされる。警察は地域の防犯カメラ映像を解析し、犯人らの行方を追っている。

8月13日[強盗事件] 午後4時30分頃、カヨ郡ブラックマン・エディ村のプーマガソリンスタンドにおいて、強盗事件が発生した。警察によると、ガソリンを給油中の男性実業家が強盗に遭った。犯人は単独犯で、金品を奪って現場から逃走した。警察によると、被害者は軽傷で済み、事件は強盗目的によるものとみられている。警察が犯人の行方を追ひ、捜査を続けている。

8月14日[侵入・強盗事件] 午後8時頃、ベリーズ市リージェント通り沿いにある「キフ

オーンズ・ポーンショップ」において、侵入強盗事件が発生した。警察によると、犯人らは閉店後の店舗に侵入し、店内に保管されていた金製品を盗み出した。被害額は明らかにされていないが、店舗側は情報提供者にBZ \$ 10,000（約75万円）の報奨金を提示している。警察は監視映像から容疑者の特定を進めている。

8月17日[強盗事件] 午後6時30分頃、首都ベルモパン市のローレンス&ローズ・ニコラス・フィールドにおいて、強盗事件が発生した。警察によると、強盗犯は男女の2人組で、このうちの1人は鉄製のパイプを所持していた。事件は、通行中の男性に声を掛け、突然、所持していた携帯端末を強奪し、逃走した。通報を受けた警察官が捜査するも、犯人らの行方はわかっていない。引き続き、警察が捜査を進めている。

8月19日[強盗事件] バレル・ブーム地区(フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿い)において、ミニバンに乗った複数の男が、現金を所持していた住民を襲撃する事件が発生した。犯人らはマスクを着用しており、被害額は不明。警察は逃走車両の行方を追っている。

[違法薬物・違法銃器類関連]

8月10日[クラック・コカイン所持] 午前10時頃、ベリーズ郡レディビル村に住む男性(34歳)がクラック・コカインを所持していたため、逮捕、起訴された。被告は0.5グラムのクラック・コカインを4錠所持してたところを巡回中の警察官に発見された。被告はその後、治安判事裁判所に出廷し自身の罪を認めた。この被告にはBZ \$ 255（約2万円）の罰金刑が科せられた。罰金が支払えない場合は、3ヵ月の禁固刑に処せられる。

8月15日[大麻の密売] 午前7時頃、ベリーズ郡ハッティビル村に住む男性(21歳)が規定量を大きく超える量の大麻を所持していたため逮捕、起訴された。被告は、販売目的で107グラムの大麻を所持していたところを警察に発見された。被告はその後、治安判事裁判所に出廷し、有罪答弁中の不真面目な態度を指摘され、禁固刑が言い渡された。加えて、BZ \$ 505（約3万7千円）の罰金が科せられた。

8月29日[大麻の密売] 午前10時頃、ベリーズ郡サンドヒル村に住む女性(21歳)が規定量を超える量の大麻を所持していたとして逮捕、起訴された。近隣住民からの通報を受けた警察が被告の自宅を捜査したところ、使用目的不明の大麻草85グラムを発見した。その後、被告は地方裁判所に出廷し、自身の罪を認めた。この被告にはBZ \$ 505（約3万7千円）が科せられた。罰金が支払われない場合は、5ヵ月の禁固刑に処せられる。

[その他事件・事故関連]

8月16 [治安素乱行為] 午後3時頃、ベリーズ郡内のジョージ・プライス・ハイウェイの15マイル地点において、警察官を負傷させる治安素乱行為があったとして、男性(33歳)が逮捕、起訴された。被告はバスの後部座席で眠っていたところ、警官に身元も理由も告げられずに引きずり出されたと主張したが、有罪を認めた。被告は警官に乱暴に扱われたため抵抗し、自身も唇を裂傷するなどの怪我を負ったと供述した。しかし、治安判事は、被告の説明が警察の報告書と異なる点を指摘した。警察の報告書には、被告がバス内で騒ぎを起こし、酩酊状態にあり、降車を求められた際に抵抗したと記載されていた。警察官は、被告と揉み合いの最中に警察ジャケットを引っ張って破損させ、警察官が制止せざるを得なかったと報告した。矛盾する証言にもかかわらず、被告に対する有罪答弁は認められ、傷害罪の初犯である被告は、9月30日までにBZ\$405(約3万円)の罰金を支払わなければ、懲役4ヶ月の刑を科せられることになる。